

件名	第10回 蒲田都市づくり推進会議	
日時	平成27年1月26日(月) 午前10:00~12:00	場所: 大田区役所本庁舎 201、202 会議室
出席者	委員23名(うち3名代理出席) オブザーバー1名	傍聴者13名
配布資料	第10回蒲田都市づくり推進会議資料	

(以下、敬称略)

◆開会・挨拶

・座長より、挨拶。

◆資料説明

・大田区事務局より、第9回蒲田都市づくり推進会議における主な指摘事項(資料1)、蒲田駅西口駅前広場初動期整備デザイン基本プラン(資料2)について説明。

◆意見交換

副座長)

今回の資料2では、西口駅前広場が具体的なデザインの段階になってきましたが、西口の自転車走行空間についても触れておく必要があります。特に縁石など、歩車道の境界をどう作っていくか。商店街前の南北の車道で石畳的に見えるところは、自動車に対しては速度を下げる効果がとても高いですが、自転車がそこを通らないで駅前広場の歩行者のエリアに入ってくるのが想定されるので、その辺りのディテールを考慮する必要があります。すでに議論されて整理されているのかもしれませんが、今日の資料に入っていないので、今後検討をお願いします。

座長)

はい、ありがとうございます。それでは、私から一つ質問ですが、シェルター類はどうなりますか。

⇒大田区)

現在、バス、タクシーの乗り場にシェルターが一つあるのですが、こちらは近年整備したシェルターとして、初期整備の段階ではこれを再活用することを考えています。その他のシェルターは、初動期整備では予定がありません。

座長)

タクシーやバス乗り場が長期的には移動するかもしれないので、シェルターはその時期に合わせて整備していくということですね。

⇒大田区)

はい、中・長期的対応となっています。

委員)

西口駅前広場検討部会で一番議論したのは、交通島の喫煙所です。駅正面の一番良いところに、喫煙所を設置することが、今回の駅前のイメージに合うのかということです。しかし、初動期整備では他の場所に動かせないということでした。駅ビルの北側に公衆トイレがあるので、そこに二階建てに鉄骨を組んで、喫煙所を設置すれば良いのではないかという意見がありましたが、関連法規等で、できないそうです。最終的には交通島に上手く作るしかないという結論になりました。

⇒大田区)

交通島の喫煙所の位置については、西口駅前広場検討部会の中でだいぶ議論したのですが、なかなか他に適所がありませんでした。今回の駅前広場整備の第一の目的は歩行者環境の改善ですので、公衆トイレの上に喫煙所を設置すると、歩行の障害になるため断念しました。また、場所がわかりにくく、遠いため、ポイ捨て防止にはならないのではと、やむを得ず交通広場に設置する予定です。ただし、永久施設という考えではなく、マナー向上が見られれば、いつでも撤去できるように、パーテーションで囲い、景観に配慮して植栽を検討しています。

座長)

はい、苦渋の選択だと思いますが、現状では、交通島に喫煙所を設置し、植栽などで隠す方向です。喫煙所はオリンピックと結構関係しそうで、舛添知事も熱心に喫煙の問題を考えているそうです。最近のオリン

ピック開催都市は、熱心に喫煙問題に取り組んでいますので、状況が変わる可能性があります。

委員)

交通島の横断歩道なのですが、交通島から駅の方に渡る場合、北側から来る車に注意しながら歩いています。現状では、交通島の植栽が大きくて、歩行者や車いすが車から見えにくく、停止線のみで一時停止でないため、タクシーは止まるのですが、他の一般車が止まらない可能性があります。足の悪い方が横断歩道を渡るには時間がかかります。このままで一時停止線はいらぬのか心配しています。新設する交通島の植栽は大きいですか。

⇒大田区)

交通島の植栽は、既存の大きいクスノキにつきましては、シンボルツリーなので撤去せずに、視認性を確保できるよう剪定をしっかりと行っていきます。また、新たに植える樹木については、車からの視認性を十分考慮し、景観に配慮しながら樹種の選定を行っていきます。

委員)

以前、台風が来たときにクスノキが大きく揺れるので、危険防止のため剪定してほしいと大田区に頼みましたが、木が高すぎて、専門業者に頼むので、すぐにはできないと言われました。木が高い方が良いという訳ではないと思いますので、木の高さも考えてください。

⇒大田区)

去年の秋に木の上部もリフト車を使って剪定しました。台風などの時期の前には、剪定をこまめにしておくというような形で対応します。

座長)

はい、今は、高木でも上手く丸く剪定する方法があります。また、下の方は全部枝を取らないと視認性の問題がありますので、その辺は管理の方でしっかりやってください。

委員)

喫煙所の問題は、今後、東口にも影響がありますので、慎重に検討してください。また、これは確認ですが、舗装デザインは資料2の最終ページに載っているもので決定ですか。円形と格子の2種類ありましたが、格子柄で決まったのですか。

⇒大田区)

舗装デザインは、まだ決まっていません。資料2の10、11ページに2案示していますが、今後、西口検討部会で、タイルの配置等の詳細を確認して、1案に絞りたいと考えています。最終的な確認は、来年度の実施設計で決定します。

委員)

円形の場合は面積が広いので色に注意した方がいいと、景観アドバイザーの先生からも指摘をされているので、個人的にどちらが良いか悩んでいます。私は格子の方が良いと思いますが、現在の案では、どちらの案でも木の下は明るく薄い色を使っていますが、どうしても汚れるので、濃いグレー系に近い色が良いと思います。今後、配色については検討が必要だと思います。

座長)

ありがとうございます。これはあくまでもVRなので、本物の色は多少違います。また本物もサンプルの一個二個で見ているのと、大きな面で見るとではだいぶイメージが違うので、色を決めるときには、現地で実際に立ち会って決めたほうが良いと思います。タイルは既製品ではなくて、特注だと思いますが、そのような理解でいいですか。

⇒大田区)

舗装材はデザイン基本プランで、大まかな色と、研磨平板という材質まで決めてはいますが、どこのメーカーを使うか等の詳細については今後の実施設計で決める予定です。

座長)

骨材をどのくらい入れるのか、明るさをどうするか、色を決める際は、現場で実際に皆様にサンプルを見てもらいながら、十分検討してください。景観アドバイザーの方にも立ち会ってもらったほうが良いので、是非そういう機会を考えてください。

◆資料説明

- ・大田区事務局より、初動期整備計画に関する進捗状況（東口駅前広場整備計画、東口地下自転車駐車場整備計画（資料3））について説明。

◆意見交換

座長)

東口の問題の一つは、広場の交通の流れで、簡単に言ってしまうと警視庁との協議がかなり難航しているという状況です。それから、もう一つは自転車駐車場ですけれども、3000台という台数の確保に向けていろいろと検討を重ねているというご報告でした。それではご意見、ご質問等はいかがですか。

委員)

タクシー乗り場の案がいくつかありますが、タクシー乗り場が交通島になると雨の日等に変だと思えます。特にエレベーターを使う方など、これから高齢者の時代になりますので、なるべく手厚く考えて、優しさのあるまちづくりに心がけてほしいです。

委員)

自転車駐車場の台数で、暫定解消の2500台、放置対策で500台という3000台の確保が難しくなってきたという話ですが、駅前に自転車駐車場が整備されれば、東口の自転車利用者が今より増える可能性は十分考えられます。すぐに自転車駐車場が足りなくなるとは、何のための整備かわかりません。通勤通学のJR利用者のために大田区がここまで整備するのですから、もっとJRに土地を供出してもらおうとか、協力して欲しいと思います。もう一点、駅前広場の整備ですが、現在、駅と反対側にトラックを含めて2～3台車が駐停車していて、補助36号線まで渋滞していることが良くあります。分離型の車線になったときも、北側の合流部分で、渋滞が予想されますので、絶対駐停車させないような配慮が必要だと思います。

また、従来のように非分離型になった場合には、横断歩道を10m南下させるという説明でしたが、エスカレーターの前までいってしまうと、階段から降りてきた方と横断歩道の位置がずれてしまうので、現状の位置の方が通りやすい気がします。

委員)

喫煙所ですが、東口の計画には喫煙所がないのですが、全部撤去ですか。私が買い物などで駅に行くと、階段を降りて来た人が、たばこを手を持っています。東口に喫煙所がなくなるとすると、駅から少し離れたところから吸うので、近隣がまた困ってしまいます。どのように考えていますか。

⇒大田区)

タクシーの乗り場は、高齢者の皆様にも使いやすいようにバリアフリー対応をし、歩行者空間の妨げにならないよう、全体計画で検討していきます。JRの土地は、これまでも協議を重ねてきましたが、区の公共用地と付け替えることにより、利用者に利用しやすい整形化を図るという形でJRと調整をしています。駐停車対策につきましては、引き続き所管を通じて蒲田警察署に申し入れをしていきます。

また、横断歩道の位置については、タクシープール、バス乗降場の位置によって変わってきますが、皆様からいただいた意見を反映させ、使いやすい歩行者環境を検討していきます。

東口の喫煙所につきましても、設置する予定でありますが、関係機関の協議を終えた後に、配置やデザイン的な検討に入っていきますので、今後、喫煙所の有無も含めて皆様にご意見を伺いたいと考えています。

⇒大田区)

放置自転車対策ですが、夜は買い物や遊びに来た方々が放置している状況ですが、その一方で夜間は通勤通学用の自転車駐車場が空いている状況です。また、確かに自転車駐車場ができたことによる需要喚起は予想されますが、年々放置自転車の撤去台数も減ってきて、皆様のマナーも向上していると思いますので、引き続き我々としても一生懸命努力していきたいですし、民間の方々と協力しながら進めていきたいと考えています。

委員)

夕方になると駅前に近いところから放置自転車で無法地帯になっている状況です。当然、通勤通学の自転車駐車場利用は、夕方くらいから夜にかけて空くので、そのスペースの空いたところに夜の利用者の分を充足して足りる試算でしょうか。それからJRと土地を交換したいということですが、想定していた駐輪台数が取れないのならば、JRに土地を供出してもらおうとか、そういう交渉がもう不可能なのかということをお聞き

したいです。せっかくの機会ですから、さらに突っ込んだ議論をしてほしいと思います。

⇒大田区)

まず自転車の方ですが、確かに昼間は撤去するので、放置はなくなるのですが、夜間については、撤去しないということがわかっている状況もあって、だいぶ無放地帯化している状況は把握しています。夜間は自転車駐車が十分に余っていますので、できる限り自転車駐車の利用を誘導する対策を今後検討します。全体としては夜間に自転車駐車が足りないということはなく、相当数空いています。要は月極めの部分と時間で止められる部分を上手く設定していることが大事ななと思っていますので、その辺も含めて検討します。

⇒大田区)

これまで目標台数達成に向けて JR 用地の活用についても検討してきましたが、JR としては、恒久的な構造物を作るなら、買ってほしいというのが当初の主張でした。区では何とか無償で使用できないかと交渉し、その後、北側の地下通路の区への移管や、将来的な駅ビル建て替え時の附置義務自転車駐車場一部免除など具体的な条件も出てくるまで行きましたが、先程も言ったように用地交換をして整形化した案でも 2 台ラックなどを使ってある程度台数の上乘せが可能であるということ、また計画当初と比べて暫定自転車駐車場の台数が変わっているところもあったため、改めて見直したところ、東口全体で目標台数を確保できるのではないかとこの辺りまで数字が出てきています。このため、今の時点で、将来的な約束をして無理に JR の用地を使うより、JR の土地として残しておいた方が、駅ビルの建て替えなどの中長期整備を考えると区としてもいいのではないかと、ということです。目標台数達成を諦めたというのではなく、既存自転車駐車場を含めた東口全体で目標台数を確保して行きたいということです。そこについては変わっていないという旨で補足します。

委員)

4 ページの地下駐車場に地域の要望に配慮してトイレを設置すると書いてあります。私は大変良いと思いますが、その下に歩行者用エレベーターの設置とあり、2 ページを見ますと歩行者エレベーターが 2 か所ありますので、トイレの設置は、誰でもトイレを一般のトイレにプラスして設置してください。エレベーターで地下に降りて使うことができますので、誰でもトイレの設置をよろしくお願いします。

委員)

駅の東西をどう繋げようかということは大事な問題で、20 年前から言われてきているのに目途も立っていない。今回は千載一遇のチャンスだと思っています。東口の地下を自転車駐車場設置のために掘りますが、既存の老朽化した地下通路は、今の状態で使う前提ですね。今の状態も良い使い方ではないので改善してほしいと何十年も前からしているのに、今回もできないというのは、あんまりだと思います。どういう見通しを持っているのでしょうか。今の既存通路はそのままで、接続だけ改善するという話は検討しているのかどうか。既存通路そのものは老朽化していて、改修できないというのは分かりますが、接続については東口の地下を掘るのですから、改善の余地はありますよね。西口についても検討の余地があると思いますが。

⇒大田区)

資料の 4 ページの左側に書いてありますエレベーターの設置並びにトイレの件につきましては、今後しっかり検討していきます。

東西の通路は、設置から 80 年近く経って老朽化した地下通路です。4 ページの地下自転車駐車場の北側の入口部分は、埋設物が非常に密集しており、初動期整備では、既存地下通路との接続は、バリアフリー対応が難しいと考えています。

オブザーバー)

広場計画について、警視庁との調整の中で難が出てきている状況だとは思いますが、元々、資料 3 の 1 ページの左側の項目のうちの 4 つはできるが、最後の一般車両の動線変更が厳しいという説明でした。ただ原点に立ち返ると、歩行者環境の改善重視という大きな政策があるので、なるべく広場内は公共交通系や歩行者系を集めるのが筋だと思います。今回暫定案が幾つかありますが、それぞれについて歩行者環境の改善がどう確保されていくのかということと一緒に整理しながら詰めていったほうがいいです。

もう一点、今回これは初動期の整備計画ということもあるのですが、非分離型となった場合でも最終的にどうするのかという案はありますか。昔は、最終案があったうえで初動期について議論していたと思うのですが、初動期だけの議論になってしまうと、後々禍根が残らないかと不安があります。その 2 点お願いした

と思います、以上です。

副座長)

今のお話は私も同感で、歩行者空間等については、1 ページ目は現計画案ということで、10.5m まで頑張っ
て広げて、警視庁協議の中で現計画案が難しくなったので、原点に立ち返るという意味で、歩行者空間をい
っそう広く取れるというメリットがある案を作りたいと思います。3 ページ目を見ていると、結構交通
島が広いですね。車両交通処理とか難しいこともあると思いますが、交通島の部分を縮めてでも駅ビルの前
の一番表玄関に降りてくる辺りをいかに立派な空間にできるかというのは課題でしたからね。その辺りにス
ペースを割り振れるのでしたら、何かメリットがあると思いました。

それから、警視庁の協議ですが、1 ページ目の北側の出口から出て滞留長が充分に取れないのではない
か、南下する場合の滞留長で横断歩道とぶつかるから、それは非分離型にして通過交通をロータリー内に入れた
としても特段変わらないのではないかなど客観的には思います。通過交通を分離型にすることに懸念がある
という指摘ならば、安全性の確保の問題で、そちらを従来から検討してきたはずですけども、安全性の問
題がないということは何らかの形で説明しなければ水掛け論になります。

⇒大田区)

それでは滞留部分についてお答えします。

警視庁から特に言われているのは、現状、一方通行で、南下するだけのところに合流する場合ですと、あ
る程度車間距離があれば、頭を突っ込んでどんどん入っていきませんが、対向車が来るところではそういった
ことができないので非常に危険性があるということです。警視庁から繰り返し言われていますのは、極力信
号に頼ったような形状ではなく、なるべく自然な形で分合流できるような形でないと、後で何か手を打とう
と思っても手の打ちようがないので、最初のレイアウト上から極力流れとして支障がないように検討して下
さいという指導を受けています。

副座長)

私の理解だと、流出部から南下する車が北上する車線をまたいで止まっていると、車線距離が 3m くらい
しかないから 1 台の車がそこに存在できるかできないか程度で、北上する車の邪魔になってしまう。対面通
行だとそこには入って来ないで手前で待っていて、一方通行にしたときにはそこを塞いでも北上する車がな
くて邪魔にならないから、1 台分増えるよと。1 台か 2 台というのは、そんな話ですかね。要はその程度で滞
留長がとれるのか、とれないのか。滞留長 20m、30m にすれば、2 台は大体入るのだから、対面通行しに
したって同じだけの滞留長が確保できますよね。そういう理解でいいですか。

⇒大田区)

そういう考え方の基に滞留長を 10m 広げてなんとかならないかという話をしたのですが、元々構造的に問
題があるので、車両が詰まってしまい信号をつけてくれという要望が出たとしても、これだけ近接した交差
点間に信号をつけることはできないので手の打ちようがないということを言われています。

警視庁からは近接している信号自体の統廃合をすれば、通過交通を分離する案も可能という話もありまし
たので、将来的にデッキを作るなどして中央の横断歩道を無くすことができれば、最終的に分離することも
できると考えています。

ただ、まだ分離案は完全にききめたわけではなく、もう少し工夫をして、分離案と非分離案を並行して考
えていきたいと思っています。

座長)

警視庁との話は、これで大丈夫とか安全だとかいうのが水掛け論のようになってきているので、ちょっと
やっかいだと個人的には思っているのですが、元々何をやるはずだったかという点に立ち返って、どうして
も何かを諦めなくてはいけないというときに何を諦めるのが一番いいのか、今後の 2 段階目の整備も含めて
もう一回見直してください。今は技術的なところで行き詰っていて、ここを手当てすれば治りますよとい
う目先の話にやや行きすぎている気が私もするのです。元々どういことをやろうとしていて、それに対して
現計画案があつてということであれば、理解しやすい。現計画案で実現できてないことが結構あるわけ
ですよ。だけどそれは第二段階にということで、優先度を落として諦めているわけですよ。最終的には警視
庁の同意が必要ですが、もう一段諦めなければいけないというときに、何を残して何を諦めるのかとい
うのは、こちらの側としても、やっぱり慎重にきちんと検討した方がいいかと思います。ただ、いつまでも水掛

け論が1年も2年も続くのも決して良い状況ではないので、限られた時間の中でご苦労だとは思いますが、少し話が前に行くような形でお願いしたいと思います。

◆資料説明

・大田区事務局より、今後の進め方（資料4）について説明。

◆意見交換

委員)

先ほどの自転車駐車場の関連ですが、西口も昔NHKが取り上げてくれたように、自転車問題がずいぶん昔からあるのですよね。特に夜、非常にたくさん自転車が放置されています。西口は自転車駐車場が何カ所かあるので地下に作らないということですが、夜は西口の自転車駐車場はやっているのですか。自転車を入れられる場所があるのですか。

大田区)

一応、夜間対応できるところはあります。

委員)

実際に西口の現状を見てください。自転車が結構放置されているのですよ、ですから実際に夜間対応の自転車駐車場があっても、皆様ご存じないのだと思う。空いているということを告知して、そこに入れてもらわないと、言葉はちょっときついですけど、夜間は自転車が街の中で溢れています。

⇒大田区)

夜間の放置自転車の対応に関しては、機械式の自転車駐車場もありますのでそちらに誘導するとか、誘導員を立たせて夜間誘導していく等、夜間放置自転車対策を今後も進めていきます。

委員)

利用者の皆様が、夜間、自転車駐車場が空いているのを知らないと思いますよ。

⇒大田区)

今後も周知を充分にして、対応して行きたいと思います。

委員)

先程の東口の駅前のお話に戻りますが、元々は東口の駅前の整備というのは、自転車駐車場を設置しようという話と、それからバス停が遠いものですからバス停をできるだけ駅前にもって行こうということで検討しています。2月4日に蒲田東口地区まちづくり協議会で吉祥寺へ視察に行くので、この間下見に行ってきたら、駅前はバスがたくさんあり、バスでごちゃごちゃしていましたが、一方で自転車に乗っている方はほとんどいなくて、ましてや放置自転車はほとんど見かけませんでした。それから配送のトラックもほとんどなかったです。ですから狭いのですが歩きやすいまちになっていました。中・長期という言葉は良く出ますけども、中・長期を見据えた開発をしていった方が良いと思います。一緒に勉強して行きたいと思いますので是非ご参加よろしくをお願いします。

座長)

はい、ありがとうございます。

先進的なことを是非参考にしてください。吉祥寺は共同配送をしています。ただ共同配送に参加していない業者さん、商店街もいるので、参加している人とそうでない人がいるのですけど、それでも配送のトラックが入ってくる時間をかなり厳密にコントロールしているようなので、その辺りも含めて皆様参考にしてください。

それから今日の資料にあります武蔵小杉、こちら、私は見学していますが、機械を実際に皆様動かしてみ、それでどんなものかなというのを試されてみたら良いと思います。個人的には、上の段はけっこう使いやすいのですが、下の段が使いづらいなという印象をうけたので、是非それは触ってみたいとわからないので、行って見てください。

それでは大体この辺りで、次回は6月頃ということですが、6月頃はどのような議題になりますか。

大田区)

先程のスケジュールに示してあります資料4をご覧ください。資料4の平成26・27年の主な議題です。第

11回は、平成27年6月頃を予定しています。来年度は、東口駅前広場・地下自転車駐車場の関係機関との協議をしっかりと整えて、整備内容についてお示しします。また協議の進捗によりましては、こうした6月の開催日程を早めに皆様にお知らせして、できるだけスムーズに会議開催に繋げていきたいと考えています。現時点で日程が決まってない点につきましては申し訳ございませんでした。

座長)

1つだけ確認ですが、27年度末に東口の都市計画決定ということは逆算していくと、今年の何月頃に大体協議が整っていないといけないのですか。

大田区)

通常、都市計画の手続きですと半年前には説明会、並びに都市計画法に基づく手続き、関係機関協議をしていかないといけない状況です。現時点でも協議できる内容につきましては協議をしていますが、警視庁協議を月1回ずつもう2回くらい行い、今年3月までに協議を整えて、6月の第11回の蒲田都市づくり推進会議で正式に示して都市計画決定に入っていきたいと思えます。

◆その他

- ・最後に大田区まちづくり推進部都市開発担当部長 より挨拶

第10回蒲田都市づくり推進会議 出席者（敬称略）

◆学識経験者

委員

東京工業大学大学院 社会理工学研究科教授	中井 検裕	【座長】
東京工業大学大学院 総合理工学研究科教授	屋井 鉄雄	【副座長】

◆地元関係者

委員

蒲田東地区自治会連合会	小山 君子	
蒲田西地区自治会連合会	藏方 庸光	
蒲田東口商店街商業協同組合	田中 彰一	
蒲田西口商店街振興組合	片山 蔦榮 (欠席)	
蒲田東口地区まちづくり協議会	藤田 静男 (欠席)	飯尾 松男 (代理出席)
蒲田大好き委員会	望月 清志	
蒲田再開発推進委員会	田中 常雅	
特定非営利活動法人 大身連	宮澤 勇	

◆大田区議会議員

委員

都市・環境委員会 委員長	丸山 かよ	
都市・環境委員会 副委員長	大森 昭彦	

◆東京都

委員

担当

都市整備局都市基盤部街路計画課長	佐久間 巧成 (欠席)	鷲尾 政史 (代理出席) (区部街路計画係長)	松岡 秀一 (区部街路計画係主任)
都市整備局都市基盤部交通企画課長	池内 光介 (欠席)	日比野 潤 (代理出席) (交通施設担当係長)	白勢 和道 (交通施設担当係主任)
都市整備局都市基盤部交通企画課		安田 剛之 (交通施設担当係長)	

◆大田区

委員

担当

まちづくり推進部長	川野 正博		
まちづくり推進部都市開発担当部長 (交通企画担当部長兼務)	齋藤 浩一		
まちづくり推進部 まちづくり管理課長	黒澤 明	渡部 正美 (まちづくり企画担当係長)	
まちづくり推進部交通企画担当課長	山田 誉	榊原 健司 (欠席) (まちづくり企画担当係長)	大見 真吾 (欠席) (まちづくり企画担当係長)
まちづくり推進部都市開発課長 (蒲田駅周辺地区整備担当課長兼務)	保下 誠	大貫 恵二 (地域整備担当係長)	近江 淳一 (地域整備担当係長)
まちづくり推進部副参事 (地域整備担当)	塩ノ谷浩司	菊地 裕之 (地域整備担当係長)	
まちづくり推進部 防災まちづくり担当課長	落合 邦男	倉 一郎 (防災まちづくり担当係長)	
都市基盤整備部都市基盤管理課長	明立 周二	小泉 謙二郎 (欠席) (計画調整担当係長)	
都市基盤整備部都市基盤管理課		中野 朝久 (地域交通対策担当係長)	黒田 光俊 (地域交通対策担当係長)
都市基盤整備部建設工事課	石井 一雄	中山 岳人 (工事担当係長)	
都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課長	久保 輝幸	貝塚 悟 (自転車対策担当係長)	内田 岳 (道路・河川管理担当係長)
連続立体事業本部長 (連続立体事業課長事務取扱)	荒井 昭二 (欠席)		
連続立体事業本部 連続立体事業再開発担当課長	岡田 誠 (欠席)	今井 正 (欠席) (連続立体再開発担当係長)	

◆国土交通省

オブザーバー

都市局街路交通施設課企画専門官	東 智徳	
-----------------	------	--

第 10 回蒲田都市づくり推進会議 の様子

